

**特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム**  
**2018年度第7回常任委員会 議事録**

- 1 日時：2018年10月22日(月) 16：00～18：20
- 2 場所：東京都千代田区麹町3-6-5 麹町GN安田ビル4階 JPF事務局会議室
- 3 出席者の確認

常任委員総数7名のうち、常任委員会の成立要件である3分の2以上の出席が満たされている旨の報告がなされ、本会の成立を確認した。

常任委員

NGOユニット：小美野 剛（共同代表理事）

NGOユニット：橋本 笙子

外務省：民間援助連携室長 佐藤 靖

経済界：永井 秀哉（共同代表理事）

学識経験者：石井 正子

学識経験者：堀場 明子（欠席につき表決権委任：小美野共同代表理事）

事務局長：飯田 修久

オブザーバー

外務省：民間援助連携室 小松崎 佳次

議長は、常任委員会規約の第3条により事務局長が務める旨を確認した。

第一部 16:00-

4 審議事項

- (1) 第一号議案：第6回常任委員会 議事録の承認

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

承認。

- (2) 第二号議案：要配慮案件（笑顔のお手伝い）への対応案に関する審議

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

承認。

- (3) 第三号議案：助成審査委員会増員について

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

承認。

- (4) 第四号議案：ICVA加盟について

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

承認。

JPFがICVAを通して得られたもの、また加盟団体にどのようなメリットがあったのかを毎年報告することが条件となった。

5 報告事項

- (1) 財務状況の報告

事務局より、財務状況の報告を書面にて報告した。

- (2) 一般社団法人『復興支援土業ネットワーク』加盟について  
事務局より本件についての報告をした。
- (3) 西日本豪雨被災者支援（非加盟向け）進捗報告  
事務局より本件についての報告を口頭にておこなった。
- (4) コンセプトノート審査委員会からの報告  
事務局及びコンセプトノート審査委員会より報告をした。  
コンセプトノート方式は継続するが改善していける点もあるため、今後改善のための検討を継続し、常任委員会で審議していくこととした。
- (5) 海外プログラム 対応計画  
事務局より今後の海外事業の予定についての報告をした。
- (6) 助成審査委員会規約  
事務局より本件についての報告をした。  
国内版も同時に作成するよう意見があった。
- (7) わかちあいプロジェクト  
事務局より同団体が提出したコンセプトノート審査結果への異議申し立てについての経過報告をした。
- (8) International Safeguarding Summit報告  
10月18日(木)に全世界から500名の参加を得てロンドンで開催された人道支援業界における性的搾取・暴力防止への取り組みに関する世界会合の参加報告をした。
- (9) 国内事務局事業における終了報告書について  
事務局より本件について報告をした。事務局事業は加盟団体による事業より厳しく内容確認されるべきとの意見があり、事務局事業終了に向けて懸念事項がある場合、常任委員会に報告をすることとした。また、加盟団体の海外事業終了報告未処理案件について、27年度分の終了報告書を可及的速やかに完成させるよう意見があった。

## 第二部

### 7 審議事項

- (1) 第一号議案：ミャンマー避難民人道支援対応プログラムにかかる事業計画の承認：1事業  
〈JADE〉コックスバザール県ウキア郡クトゥパロンにおける脆弱性の高いミャンマー避難民を対象とした食糧及び生活用品の配布  
結果：助成審査委員会の答申のとおり条件付き承認とする。  
すでに条件に対応済みのため、常任委員会において承認とする。

条件：

1. 配布キットの名称について、配布内容を適切に表すために、「女性用衛生用品キット」から「Dignity Kit」に改める。
2. 申請書における「交流・歓談スペースと衛生相談コーナーの設置」に関する記述について、より現実的かつ適切な表現に修正する。

- (2) 第二号議案：南スーダン人道危機支援対応プログラムにかかる事業計画の承認：1事業  
〈JCCP〉中央エクアトリア州ジュバ市国内避難民キャンプと周辺コミュニティにおける共同作業を通じた民族融和と平和的共存の促進  
結果：助成審査委員会の答申のとおり条件付き承認とする。

条件：

1. 「民族融和」の事業内容として、出口戦略を明確にすることにより、本事業の位置づけ、しいては目指す民族融和がどのようなものなのか、わかりやすいように申請書内で説明すること。
2. 民族融和度に関する調査分析報告について、評価の指標が難しいことを鑑み、実際の事例を深く掘り下げて、分析すること。

## 8 書面による報告

- ① NGOユニットからの報告
- ② 事業計画変更の報告
- ③ JPF事務局審議結果の報告
- ④ 固定資産処理の報告
- ⑤ 終了報告書審議結果の報告
- ⑥ コアチームの報告
- ⑦ 共に生きるファンド監査結果報告

## 9 次回以降の常任委員会開催日時と会場について

2018年度第 8回常任委員会：2018年11月26日(月) 魏町GN安田ビル4F会議室  
2018年度第 9回常任委員会：2018年12月20日(木) 魏町GN安田ビル4F会議室  
2018年度第10回常任委員会：2019年 1月21日(月) 魏町GN安田ビル4F会議室  
2018年度第11回常任委員会：2019年 2月25日(月) 魏町GN安田ビル4F会議室  
2018年度第12回常任委員会：2019年 3月20日(水) 魏町GN安田ビル4F会議室

「共に生きる」ファンド常任委員会

：2019年1月22日(火) 魏町GN安田ビル4F会議室

以上